

地域の暮らしを話す会

令和3年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会



目次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 令和3年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 6

【各地区の意見詳細】

①日新地区	p 10
②佐野台地区	p 13
③北中地区	p 15
④三小地区	p 19
⑤末広地区	p 23
⑥一小地区	p 26
⑦長滝地区	p 29
⑧上之郷地区	p 32
⑨大土地区	p 36
⑩長坂地区	p 38
⑪日根野地区	p 46
⑫南中地区	p 51
⑬中央地区	p 55
⑭二小地区	p 59

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合っって把握する場です



「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合っって把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

なぜ座談会が必要なの？

3つの理由があります。



2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために



最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために



「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで
見つけてのばしていこう！



→自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく



目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくるのが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々々の時代にあった地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



住民座談会で、地域の困りごとをみんなであいさつしよう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたいな。

子どもの事件が増えて不安だわ。



■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

令和3年度実施報告

1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成25年度・平成26年度の2年をかけて「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の2つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成25年度に市内の14地区で2回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

平成27年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSWが協働で継続的に取り組んで行くことになりました。また令和3年度から「第3次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」が施行されました。令和元年度から続くコロナの影響により開催できない地区もありましたが、対面以外に書面での方法を用い、すべての地区で開催されました。

《令和3年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日時	場所	人数
日新	12月13日(月) 19時00分～	ホテルニューユタカ	50人
佐野台	2月20日(土) 13時30分～	南泉ヶ丘町会館	13人
	3月13日(日) 13時00分～		
北中	書面実施		51人
三小	書面実施		30人
末広	11月18日(木) 19時30分～	東羽倉崎南町集会所	13人
一小	3月11日(金) 19時30分～	羽倉崎町会館	22人
長滝	7月21日(水) 15時00分	長滝第一町内会館	30人
	9月9日(木) 10時00分～		30人
	3月24日(水) 15時00分～		30人
上之郷	11月29日(月) 18時30分～	上之郷コミュニティセンター	16人
大土	書面実施		30人
長坂	書面実施		85人
日根野	11月13日(土) 19時00分～	日根野公民館	32人
南中	10月28日(木) 19時00分～	南部市民交流センター	23人
中央	11月27日(土) 10時30分～	葵町会館	10人
二小	書面実施		48人

のべ参加者数 513人（うち書面参加244人）

2)当日の内容

令和3年度は、前年度に続き新型コロナウイルスの感染が拡大していましたが、徐々に活動の制限が解除され、感染対策を取りながらの活動が再開されました。コロナと共に生きていくことが当たり前の生活、ウィズコロナの中で、以前のような活動はできませんが、今できることに重点を置いたテーマを検討する地区が多くありました。

《令和3年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ
日 新	ウィズコロナの地域活動を考えよう
佐野台	世代間交流（地区交流ゲーム大会）について
北 中	あなたの住む町について
三 小	地域活動の現状をふりかえってあなたの思い
末 広	福祉委員会の活動を振り返ろう
一 小	With コロナでもできる活動
長 滝	今年度以降の長滝地区の取り組みについて
上之郷	ウィズコロナの地域活動を考えよう
大 土	あなたのまちの困りごとについて
長 坂	あなたの住む町について
日根野	ウィズコロナの地域活動を考えよう
南 中	研修に関するアンケート結果の共有
中 央	ウィズコロナの地域活動を考えよう
二 小	あなたのまちの困りごとについて

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

地域の暮らしを話す会の効果

地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながった事例が生まれてきています。

小ざくらネット（二小地区福祉委員会） 協力員・子育てサロン参加者の声をカタチに

テーマ「コロナ禍における地域活動について」

コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地域の暮らしを話す会が対面で開催出来なかったため、アンケート形式で実施。

①地域の暮らしを話す会アンケートー小ざくら広場(子育てサロン)についての項目での意見

・他地区の見学	・公園など、外での活動も増やす
・感染予防	・プレゼントの配布
・感染に気を付けて参加してくれた。	・オンラインでの交流
・安心して小さい子どもといける場所を求めていると思う。	
・今だからこそ小ざくら広場が親と子に必要。	・男性は何を手伝って良いか分からず困っている
・広く知って頂いてたくさんの方に参加して貰えればと思う	

②アンケートを元に、小ざくら広場を運営している住民で、コロナ禍での開催できる工夫を検討。

・3密に配慮した屋外の集會他	・オンライン交流
・子育てサロンに参加している親子を対象にアンケートを作成	

③子育てサロンに参加している9名にアンケートを実施。

・公園など広くスペースのとれる野外での活動がしたい（8名）	
・公園と時間を設定して告知し、子ども達は遊び、ママは見守りしながらおしゃべりなど。	
・オンラインでの交流	・校区内の公園などを活用する。

ボール遊び

遊具遊び

公園を使った初めての屋外サロンを開催！！

参加者の声

ボランティアさんと一緒だと安心でした

子どもと二人で公園に行くと大変なので、よかったです。

子どもが楽しそうにしていました。

今まで屋内での活動だけでしたが、運営側と参加者の声から、コロナ禍でも楽しめる新たな活動メニューが出来ました。

増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

地域の暮らしを話す会では、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多くでていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声もあがっています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が広がりを見せてきています。

コミュニティカフェのポイント&メリット

①定期的開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。(体調や都合にあわせて参加できる)
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれたりする。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

地区福祉委員会が行っているカフェ型活動（令和4年7月現在）

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原団地ふれあい	毎週火・土 10:00~12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:30~15:30
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	第1・2・3・5水曜日 13:00~15:00
一小地区「サロン・ド・松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日 10:00~12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日 13:30~15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2日曜日 10:00~12:00
佐野台地区 南泉ヶ丘「カフェよりみち」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日(第2週除く) 13:00~15:00
中央地区「中町カフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日 10:00~11:30
長滝地区「新長滝カフェ」	長滝住宅集会所	月1回第3土曜日か日曜日のどちらか 9:30~11:30
一小地区「西本町カフェ」	西本町会館	毎月第3日曜日 10:00~12:00
日根野地区「西上カフェ」	西上町内会館	毎月第2水曜日 13:30~15:00
末広地区 東羽倉崎自治会「おしゃべりカフェ」	東羽倉崎自治会集会所	毎月第4金曜日 11:30~13:30
末広地区 羽倉崎上町「スマイル・カフェ」	羽倉崎上町集会所	毎月第2金曜日 13:30~15:30
三小地区「しんまち茶論」	新町長生会館	毎週水曜日 10:00~12:00
日根野地区「野々地蔵カフェ」	野々地蔵町内会館	毎月第2水曜日 13:30~15:30
南中地区 榎井東「笑茶話茶カフェ」	榎井東会館	毎月第1日曜日 9:00~11:00
末広地区 東羽倉崎南町「ふれあい喫茶なでしこ」	東羽倉崎南町自治会館	毎月第2金曜日 13:00~15:00
佐野台地区「みんなの茶の間」	西佐野台町会館	毎月第1・3水曜日 13:30~15:00
長坂地区「ふれあいモーニングカフェ」	新泉ヶ丘集会所	毎月第3土曜日 8:00~11:00
北中地区「喫茶たんぽぽ」	鶴原中央住宅集会所	毎週月曜日 7:45~11:30

その他、これまでの「地域の暮らしを話す会 実施報告書」に掲載した事例

平成 26 年度 実施報告書	買物支援の取り組みが動いた事例
	成年後見に関する取り組みを後押しした事例
平成 27 年度 実施報告書	長滝中ノ番子育てサロンの設立
	旭町カフェの設立
	町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み 買物支援の取り組みが動いた事例（27年度の取り組み加筆版）
平成 28 年度 実施報告書	中町カフェの設立まで
	樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで
平成 29 年度 実施報告書	西上カフェの設立まで
	PDCA サイクルを取り入れた災害に強いまちづくりに向けた取り組み【長滝地区】
	泉陽ヶ丘支部福祉委員会の取り組み
平成 30 年度 実施報告書	土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み
	平成 30 年台風 21 号被害の経験を今後活かすために
令和元年度 実施報告書	「担い手」に関する意見、たくさん出ました！
	長滝地区福祉委員会の年間を通した話す会（事業調整会議）の実施
令和 2 年度 実施報告書	地域での新たな話し合いの場づくり

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください

（泉佐野市社協ホームページに PDF 版を掲載しています）<https://izumisano-shakyo.or.jp/>

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています。社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援 …会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援
…運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成
…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見
(ふせんに書かれた意見など)を、すべて書き出しました。

日新地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年12月13日（月） 19時00分～20時00分

場 所：ホテルニューユタカ

参加人数：50人（中庄12名、上瓦屋12名、湊15名、泉陽ヶ丘9名、日新小学校2名）

参加職員：地域福祉G／中上、基幹包括G／高根、地域包括支援センターホライズン／佐賀、地域包括支援センターしんいけ／池澤

テ ー マ：ウィズコロナの地域活動を考えよう

中庄支部

今年度～現在までの活動の振り返り

- ・グループでの活動はできていないが、個別訪問でプレゼントを渡して、様子を確認させていただいた。とても楽しみにしてくれている方もいる。
- ・以前は自分達で作った寄せ植えをプレゼントしていたが、昨年度からは、花屋で作ってもらった寄せ植えをプレゼントしている。
- ・花見会（3月）中止、七夕まつり（7月）中止、子育てサロン（中止）
- ・花筏カフェ継続利用の方あり

地域の中の困りごとや課題/よかったこと・継続していきたいこと

- ・指定場所にゴミ出しができていないこと
- ・民生委員と町会評議員との連携を強化したい（図面に見える化）
- ・民生委員と協力員の連携強化
- ・独居高齢者が「支援してもらいたくない」とネット対象者への登録を拒否することがある。
- ・自宅で孤独死される方もある。
- ・地域のつながりが薄くなっている。新しく地域に入ってきた方に多い。なかなか会う機会がない方のお宅も電気がついているかどうか等気にしておきたい。

2022年度コロナウイルス感染症が落ち着いていればどのような活動がしたいか？

- ・春の花見、七夕、友愛訪問、カラオケ大会（桜）（民生委員児童委員参加）

上瓦屋支部

今年度～現在までの活動の振り返り

- すべての活動が中止→10月から再開（元気塾・カラオケ・ラウンジ）
- 盆踊り・祭りも中止
- グリーンクリーニング作戦はずっと継続。
- 長生会は3月総会、9月敬老会、6月の初夏の集いは中止。
- 見守り訪問はずっと実施中。
- 来年、カラオケは無理かもしれないが、それ以外は……

地域の中の困りごとや課題/よかったこと・継続していきたいこと

- マスクばかりでつらい
- 健康体操、ラウンジを再開したが人数が減少している。
→ラウンジは年齢制限なしで皆に呼びかけをお願いしたい
→一度回覧板で案内する予定
- 消防署の上、フジ住宅に入居されている方がどれだけ協力してくれているのか。
→住宅が建つのが遅れている。
- 今までラウンジを利用していた方が途切れてしまうと再開は難しい。
- 各地区でリーダーシップを発揮してさそい合わせる必要がある。
- あいあいサロンのバスツアーもできなかった。

2022年度コロナウイルス感染症が落ち着いていればどのような活動がしたいか？

- コロナ前から行っていた行事を再開したい
- 山出川ー熊取町の開発が遅れて雨水が侵入している
- 防災の会議にて河川の氾濫が一番怖い/雨が降るときに一気に降る傾向
→町内の防災に関してハザードマップ作成（河川を優先的に）
- 福祉の後継者育成
- 福祉活動の一環としてディスコンと卓球を続けてきたことによりその回が楽しみで元気が出るので健康を維持出来てきた。
- あまり集会に来ない人にも交流会の品物を配布して顔を見れて話げできたことがよかった。
- 挨拶運動をずっと続けて子どもたちに声掛けをしてきた。
- クリーン作戦に参加。

湊支部

今年度～現在までの活動の振り返り

- ・ディスコンができてよかった
- ・挨拶運動
- ・クリーン作戦にも参加

地域の中の困りごとや課題/よかったこと・継続していきたいこと

- ・新年の桜、フジを見る会などがコロナでできなかったことが残念
- ・普段出てこない方も、配布物の対象を全員にすると出てきてくれる。

2022 年度コロナウイルス感染症が落ち着いていけばどのような活動がしたいか？

- ・新しい湊サロンを始める
- ・子育てサロンを再開する（1月～）
- ・美化運動として会館に花を植える

泉陽ヶ丘支部

今年度～現在までの活動の振り返り

- ・月1回の個別訪問・健康状態の確認をしている
- ・年1回記念品（花）を持参
- ・さのトレをモデル事業として始める。

地域の中の困りごとや課題/よかったこと・継続していきたいこと

- ・月1回の個別訪問を喜んでもらっている（継続する）

2022 年度コロナウイルス感染症が落ち着いていけばどのような活動がしたいか？

- ・月1回サロン（食事会または茶話会）を実施し、介護予防に役立つ軽い運動や皆で唱歌・童謡などをうたう。
- ・高齢者対象だと、どんな方法が良いか難しい。久しぶりに会うと話をしたくなる。
- ・さのトレ体操を自分の体調に合わせて継続することを目標にして、1年後を楽しみにし、プレゼントを用意するよう計画したい。

佐野台地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年2月20日（土）13時30分～15時00分
 令和4年3月13日（日）13時00分～15時00分

場 所：南泉ヶ丘会館

参加人数：13名（佐野台4名、西佐野台4名、南泉ヶ丘2名、東佐野台3名）

参加職員：地域福祉グループ/中上

テ ー マ：世代間交流（地区交流ゲーム大会）について

【これまで】	【今年度】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪投げ ・ ビー玉落とし ・ 玉入れ ・ じゃんけんゲーム ・ ビンゴ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪投げ ・ じゃんけんゲーム ・ さいころ転がし ・ くじ引き

輪投げについて

事前にチームを作るのが手間・小さな子と高齢者が混じって競技をするので、人によって投げる位置が大幅に変わってしまい、不公平感がある場合あり。

①1歳～3歳 ②4歳～6歳 ③小学校1～3年 ④小学校4～6年 ⑤80歳まで ⑥80歳以上

上記の通り6つのグループに分けて年齢別に競技を行う。

景品は各ブロックに用意する。

じゃんけんゲームについて

以前のように代表者対全員という形での競技はしない。

①ひとり10本の腕輪を配る

②時間内（3分）で自由に2人組になってもらい、じゃんけんをする。
 負けた人は勝った人に輪を1つ渡す。

③終了後により多くの輪を持っていた人が勝ち

上記ルールで開催し、決勝戦は行わない。

サイコロ転がし

大きいサイコロを2個同時に投げ、出た目の合計が多い人が勝ち。

くじ引き

ビンゴゲームの代わりに行う。

紐の先に「あたり」・「はずれ」を書いた紙を貼り付け、紐を引っ張る。

あたりを引けば景品をもらえる。

その他

- マグネットでつくったダーツをする
- 飛行機とばし
……10種類くらい飛行機のおり方を用意して自由に折り、どの飛行機が一番遠くへ飛ぶかを競う。
- サッカー
……通常の球体ではなく、いろんな角度がついたまっすぐ転がりにくいボールを使ってゴールにいれる。
- ゴム手袋を用意して受付でわたす、競技の前後には手指消毒をしてもらい、感染症対策
- 小学校の運動場などに起震車や、煙中体験ができる設備を用意し、休み時間や自分が競技に参加しない時間帯に自由に体験してもらうことで防災の勉強もしてもらえるのではないかと。
- 玉入れは子どもが楽しみにしているが、皆で触るし密になる。高齢者は腕があがりにくい。
- ビンゴは時間がかかりダラダラしてしまう、くじ引きにして受付の時に番号を渡すのはどうか
- 審判の交代要員を作って、協力員にもゲームに参加してもらう
- 審判でルールや採点の調整をする
- 競技中はBGMを流す
- 競技ごとの表彰ではなく、プレゼント引き換え券を作って最後にまとめて表彰する

北中地区 地域の暮らしを話す会

開催方法：アンケート形式

回答数：51名（鶴原 17名、下瓦屋 17名、鶴原中央住宅 17名）

テーマ：あなたの住む町について

鶴原支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	4名	障がい者が住みづらい	3名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	1名
地域活動が少ない	8名	地域活動の担い手が少ない	17名
住民同士の交流が少ない	10名	災害が起きたとき心配	12名
ゴミのポイ捨てが多い	11名	動物のフンが多い	2名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	2名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・買い物等に行きづらい。
- ・大きなスーパーが近くにない。
- ・鶴原駅前のメイン道路がせまいので小学校の通学、障がい者の歩行が危険。

③ 自由記述

- ・住みよいまちで、みんな仲良し。

下瓦屋支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	0名	障がい者が住みづらい	0名
子育て世代が住みづらい	0名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	2名	地域活動の担い手が少ない	6名
住民同士の交流が少ない	2名	災害が起きたとき心配	3名

ゴミのポイ捨てが多い	6名	動物のフンが多い	3名
近所トラブルがある	1名	敷地から木がはみ出している	3名
その他	1名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

・コロナの影響で地域活動、交流が減っている。
・コロナ禍のため、地域活動に制限があるので仕方ない。
・マンションのため、多人数の交流チャンスが少ない。
・たばこのポイ捨てが多い。先日は自転車を捨てられて困った。
・三中近くの踏切付近、車が一時停止した時に車の中からごみを捨てる人がいる。
・ゴミ、吸いがらの啓発看板を設置してほしい。
・敷地内に植物が密集し全然手入れされず、道路際の木々が電線にふれている状態。申し入れても改善されない。
・農協横の雑木が道にはみ出しており近所の人がかかなり迷惑している。
・家の入口に平気でフンをさせて放置したままにしている。
・道端のフンが始末されていない。
・野良猫が増えているように思う。
・最近、アライグマ、タヌキ、イタチ等の野生動物の出没が多く聞かされている。
・三中前の道路の交通量が多くなっている。特に小中学生の登下校時に多い。
・マンションだが生活音、犬の鳴き声が気になる。

③自由記述

・比較的住みよいまちだと思う。

鶴原中央住宅支部

①あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	8名	障がい者が住みづらい	6名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	2名
地域活動が少ない	1名	地域活動の担い手が少ない	9名
住民同士の交流が少ない	6名	災害が起きたとき心配	10名
ゴミのポイ捨てが多い	8名	動物のフンが多い	5名

近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	2名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いため、各棟からの役員選出に年齢関係なく当たることが非常に多くこの先不安に思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（1人暮らし）が増えているのに対して、民生委員など地域活動をしてくれるひとがなかなか見つからない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いため役員選出の際、棟によっては2～3人の方が毎年交代で出てきている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・団地に若い世代の方が生まれても、すぐに転居されるので役員等になってももらえない。（仕事や育児で無理と言われることあり） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足のため自治会役員選出が困難。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の方々同士は仲良くされているが、挨拶さえも、住んでいるところさえも知らない人がいる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・集会所でいろいろな活動をしているが、参加する方しない方もあり、声かけしても拒否されることもある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・まったく交流がない方もいるので、自宅で倒れていても対応できないことがある。隣で人が亡くなっても他人事として話す方もおり、民生委員や福祉委員会の方々が動いてくれている。孤独死が増えそうで心配。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が非常に少ないので地域活動がままならない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の入れ替わりが多いためか、ごみの不法投棄がそのままになり処分方法が分からない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所が近くにないので高齢者にとっては不安。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の指定避難場所まで遠く、住宅内に一時的に集まれる場所が決まっている方が高齢者にとっては安心できる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅が古いので、地震が来た時に心配。住宅の建て替えを希望。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物するのが不便。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加し近くに買い物する場所がない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子の袋、ペットボトル、コーヒー缶、マスク、たばこの吸い殻などが捨てられている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・最近、大型ごみ、分別されていないごみのポイ捨てが増えている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・車道、歩道に限らずお弁当の残骸、食べ残し、飲み物のペットボトル、コーヒー缶等が捨てられていることが多い。溝にはたばこのポイ捨てが目立つ。 	
② 自由記述	

- 自治会役員の選出（担い手）が 2 年ごとで毎年難航しているのが現状。自治会の存続が危ぶまれている。
- 高齢者 72%を超えた状況。若い方（中高年）は仕事をしている人がほとんどで、高齢者が安心して暮らせて、住んでいてよかったと思えるようなまちづくりをどのようにしていけばよいか考えたい。話し合いの場が欲しいと思う。

三小地区 地域の暮らしを話す会

開催方法：アンケート形式

回答数：30名（旭町12名、新町10名、春日町8名）

テーマ：地域活動の現状をふりかえってあなたの思い

旭町支部

1. 個別支援活動（見守り、訪問、声掛け 他）について

心配なことや不安なこと

- ・コロナ禍の影響で十分な見守り等活動ができないことが残念です。
- ・コロナ禍が収束していないので、訪問したくてもできない。
- ・いつ第6波があるかわからないという不安がどこかにある。

今後、大切にしていきたい思いや考え

- ・自分も高齢になりいつまでお手伝いできるかわかりませんが、できる限り頑張りたいと思います。
- ・コロナ感染に対する正しい情報を共有する。
- ・声掛けを大切に！
- ・感染したくないので、手洗いやうがいをする。
- ・ひとり暮らし高齢者の中で特に身体の弱そうな人及び物忘れの多い人を月一度の訪問をして体調確認する。
- ・直接会うことがとても大事です。
- ・感染症対策をしっかりして一人も置き去りにしないようにしたい。
- ・ソーシャルディスタンスを守り、感染予防をしっかりしながら対面ではどうかと思う。

2. グループ支援活動（サロン、食事会、カフェ、新春の集い 他）について

心配なことや不安なこと

- ・外を歩いているときになるべく「こんにちは」の声掛けはかけようと思う。何度か続くと、2言、3言と言葉数が増えてきている人もいます。
- ・コロナ禍まん延の為に思うように活動ができなくなり、開店休業でどうなっているか不安です。
- ・私も含めて家にいる時間が多くなり、会話の場が少なくなったことです。
- ・感染リスクが収まるまでは流動を避けたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・約2年間活動中止となり、わからないこと。 ・活動中に感染があればどうしよう…クラスターになったらと不安です。 ・この時期に活動をして、もし感染・クラスターが起きたらどうなるのか不安。 ・自分が感染して周りや職場に迷惑をかける不安が強いです。 ・まだまだこの先のコロナ状況がわからないので、予定は立てにくいと思います。

<p>今後、大切にしていきたい思いや考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべて気をつけながら再開すれば良いと思います。 ・なるべく対面して、笑顔を取り戻していきたいです。 ・楽しみにしている方々がいるので頑張りたいと思います。 ・コロナが無ければと思います。気をつけて再開できればと思います。 ・家に籠っている方々を少しでも外へ出られる機会をお友達と直接会って話せ環境づくりをしたい。 ・こまめに直接会って少しずつでも話しができて、心配事など出せるようになれば良いのにとと思います。

新町支部

1. 個別支援活動（見守り、訪問、声掛け 他）について

<p>心配なことや不安なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人の参加が少ないことが心配です。 ・活動を支えていただく福祉委員会メンバー、特にキーパーソンやボランティアの方々の高齢化が進み、組織としても弱体化してきていること。 ・見守り協力員が減少しつつあるのが気になります。 ・訪問時に在宅していることがわかっているのですが、玄関を施錠している為安否確認ができないことが多く心配です。 ・協力員の減少や高齢化により、見守りの存続が難しくなっていること。

<p>今後、大切にしていきたい思いや考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔を見ることと声掛けで話しをすることが一番だと思います。 ・地域とのつながりを大切にしていきたい。 ・見守りと声掛けをしているとき、子どもたちは元気でいいですね。元気ももらっています。

2. グループ支援活動（サロン、食事会、カフェ、新春の集い 他）について

心配なことや不安なこと
・コロナ禍による先への不安。
・協力員の減少。
・子どもの減少。

今後、大切にしていきたい思いや考え
・コロナの収束が見通せない中、実施方法を十分検討して活動を始めていく必要性がある。
・各種活動をコロナ対策しながら活動すべき。
・「いきいきサロン」は色んな面で次回からはお弁当が良いと思います。
・参加することではなく年に1回、各町で何か喜んで貰える品物を選び、訪問して現状を確認すれば良いと思います。
・いまはコロナで仕方がないです。コロナが済むまで我慢です。

春日町支部

1. 個別支援活動（見守り、訪問、声掛け 他）について

心配なことや不安なこと
・自分も年を取って足腰も弱ってきているので、いつまで出来るか心配。
・三小へ通う子どもの数及び高齢者の数ともに減少傾向にあること。過疎化。
・今後若い力が必要なのに、若い人が少なく成り手がいない。
・学校に対象児童の欠席者/早退者/下校時間の変更など事前に連絡して欲しい。
・独居高齢者の日々の買い物動向を調査し、少しでも買い物の手助けをする取り組みを考えて欲しい。
・訪問時に横になっている人で、「いいですよ。」と出て来てくれるので、ちょっと気の毒に思う時があります。
・ボランティアが高齢になり、活動がだんだんきつくなってきた。
・コロナ禍で人と会わない状況が続いているので、認知症などが進まないか心配です。
・見守りをする人の高齢化もあるが、働き世代が活動を進めるのも難しい状況がある。

今後、大切にしていきたい思いや考え
・今までのように見守っていくことが必要だと思います。毎日見守られ、挨拶のできる児童を見ていると大切だなと痛感しています。
・健康に気をつけて続けたいですが、早く若い人にバトンタッチしたい。
・年代を隔てた交流を考えたい。
・定期的な見守り以外の日常でも声掛けを大事にしたい。
・下校児童と見守り隊との「ただいま、おかえり。」と双方の声掛けを今後も大切にしていきたい。
・訪問活動について安否確認だけでなく、困りごとを聞くようにしていきたい。
・つながりを大切にしていきたいと思っているが、だんだん人がいなくなってきて不安です。

2. グループ支援活動（サロン、食事会、カフェ、新春の集い 他）について

心配なことや不安なこと
・支える側も高齢になり若い人の参加が必要かと思います。
・コロナ禍でいつもの活動ができないことです。
・健康であって活動であり、まず自分から気をつけたい。
・新春のつどいをしたくても100名入れる場所を確保するのが難しい。どこかいい場所があれば教えて貰いたい。
・ほとんどの活動が中止になり、気分転換やコミュニケーションができずストレスが相当蓄積していることが心配。
・楽しみにしている方がだんだん少なくなってきて寂しいです。
・会食やおしゃべりなどをして仲良くなれるのにそれができない状況が続くのはつらい。
・カフェの開始時期に悩む。
・企画を考えるのが大変。

今後、大切にしていきたい思いや考え
・感染対策に気をつけて、食事は弁当の持ち帰り等、集う機会を増やしたい。
・できる限り会館を使って楽しい時を過ごせる計画を。
・独居老人の集まれる楽しい会を始めたい。
・男性も気軽に来られるサロンにしたい。
・高齢者だけでなく、地域の人がカフェに来て楽しいおしゃべりをしてもらいたい。町の中の知り合いを地域の人に作って欲しい。

末広地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年11月18日（木） 19時30分～21時00分

場 所：東羽倉崎南町会館

参加人数：13名（東羽倉崎自治会4名、新安松町3名、長滝第一住宅2名、東羽倉崎町2名、東羽倉崎南町1名、羽倉崎上町1名）

参加職員：地域福祉グループ/塩田、基幹包括支援センターいずみさの/鍬田・松崎、地域包括支援センター泉ヶ丘園/福井

テ ー マ：福祉委員会の活動を振り返ろう

1. 福祉委員会の活動で良かったところや工夫されていた点を教えてください。

個別支援活動

- ネット対象者に電話にて行っている。
- 担当制にして協力員で分担し、民生児童委員がフォローしている
- 誕生日当日にお祝いとしてお花とメッセージを添えて届けている。
- コロナ禍でも休まずに訪問している。
- 訪問するとネット対象者に喜ばれることが多い。笑顔で会話してくださる。

グループ支援活動

- 協力員同士の情報共有。
- 活動の内容や趣旨を定期的に内部で振り返り、理解している。
- 協力員の人数が少なくても話し合うことでまとまりが良く、同じ方向で取り組んでいる。
- 今まで協力員として活動してくれていた方が体調を悪くされて辞められたが、ネット対象者となつてつながり続けることができたこと。
- 毎週のサロンに来ていない方は気になるので安否確認をしています。
- 季節の花（春→桜、秋→紅葉）などを用意して、色を塗ってお弁当に添えて配っています。
- 研修会と交流会に取り組んでいる。
- 食事や顔を合わせて会話を楽しまれ、笑顔で仲良く帰られる。
- 顔の見える町会をめざした取り組み。

2. 活動で困っていることや気になることを教えてください。

個別支援活動
・コロナ禍により長時間で直接会えない。ネット対象者の現状把握がしにくい。
・協力員不足。
・独居高齢者のご本人が色々なことを話すのを嫌うようなところがあって、なかなか詳しく聞けない。
・家を訪問しても出てきてくれないことがある。会えない。
・ネット対象者と65歳以上の方への訪問を一人するのは大変です。協力員たちは若く、平日はお勤めしているので頼みにくい。
・平日は仕事をしているので、民生委員さんを手伝うことが難しい。

グループ支援活動
・研修会や勉強会ができない。
・協力員不足。
・コロナ禍で会館に集まっての開催が難しい。
・ネット対象者がデイサービスの通所や施設入所、入院、転居など理由で連絡取れないことがある。
・参加メンバーが同じ。他の参加者が増えない。

3. 他町の取り組みを聞いて、気になることがあれば教えてください。

・ハロウィンパレードを参考にやってみたい。
・催し等でネット対象者と楽しく談笑したり、笑顔を見られるように工夫したい。
・コロナ禍はメッセージを添えてお弁当を配布する。
・個別訪問で会えない方に対しての対応法を話し合いたい。
・お手紙やお花を貼るなどすごく丁寧だと思いました。
・誕生日会（花束を持って行くなど）をやってみたいです。
・顔の見える町会ということをお話されていたので何かできないか。

4. 今後、あなたの町で取り組めそうな活動があれば教えてください。

既存の活動で新たな工夫点
・安全パトロールについて福祉委員会と町会とで話し合う場を設ける必要があるかもしれない。
・ボランティアをしてくださる方々が少なく、住民に声をかけていますが、

なかなか良い返答をいただけません。残念です。

- 現時点ではない。

新しい活動のアイデア

- 校区全体で行事を取り組む。(例：運動会やラジオ体操など)
- 各世代に向けて情報発信するために SNS を活用する。デジタルとアナログの双方で発信する。
- コロナ終息後に協力員と共によく検討したい。

一小地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年3月11日（金） 19時30分～20時30分

場 所：羽倉崎町会館

参加人数：22名（本町3名、元町1名、松原団地住宅2名、羽倉崎町6名、
野出町3名、西本町2名、笠松町3名、松原町2名）

参加職員：地域福祉グループ／塩田、基幹包括支援センターいずみさの／松崎・
桑、地域包括支援センター泉ヶ丘園／福井

テ ー マ：with コロナでもできる活動

本町支部・元町支部・松原団地住宅支部

1. 今年度のサロン活動について

※内容や工夫したこと、中止になった判断基準など

高齢者サロン
・集まらずにお弁当配布に切り替え
・2つ以上のグループに分け、それぞれの集合時間をずらす
・検温/消毒/換気
・国からの通達（緊急事態宣言）を判断基準にした

子育てサロン、世代間交流活動など
・学校/学級閉鎖を受けて判断した

2. 来年度以降のサロン活動について

※興味・関心があること、町内で検討したいことなど

高齢者サロン、子育てサロン、世代間交流活動など
・集まる際はパーティションの使用

羽倉崎町支部

1. 今年度のサロン活動について

※内容や工夫したこと、中止になった判断基準など

高齢者サロン
・（府内/市内の）感染者数の増加や緊急事態宣言の発令を基準
・市主催の元気塾などを参考基準としている
・高齢者は重症化になりやすいので慎重に判断する

子育てサロン、世代間交流活動など

- ・幼児はマスク着用できないので不安
- ・子ども地車ができなくて、代わりにスタンプラリーを開催した

2. 来年度以降のサロン活動について

※興味・関心があること、町内で検討したいことなど

高齢者サロン、子育てサロン、世代間交流活動など

- ・スタンプラリーは運動にもなるし、来年度もやりたい
- ・ピザ窯でピザを焼いて楽しむ
- ・青年層のボランティア活動参加増を検討したい

野出町支部・西本町支部

1. 今年度のサロン活動について

※内容や工夫したこと、中止になった判断基準など

【高齢者サロン、子育てサロン、世代間交流活動など】

- ・サロンを中止した代わりに、全世帯に案内状を配布し、申込者にお菓子とお茶を取りにきていただく
- ・お菓子の配布は館内でなく屋外にした
- ・会館が狭いので、みんな集まらないのが悩み
- ・集まると密になる上、きちんとしたマスク装着が困難になると思う

2. 来年度以降のサロン活動について

※興味・関心があること、町内で検討したいことなど

高齢者サロン

- ・会館に集まる時間帯を分散する
- ・してほしいことをアンケートで集計する

子育てサロン、世代間交流活動など

- ・野外でお菓子を配る

笠松町支部・松原町支部

1. 今年度のサロン活動について

※内容や工夫したこと、中止になった判断基準など

高齢者サロン、子育てサロン、世代間交流活動など
・月2回、コーヒーとパンだけでカフェを開催しています
・町内のサロン実態把握からはじめ、出席の声掛け、未出席者への対応
・町内クリーン活動など屋外の活動に切り替えた
・元気塾を参考に人数を決めていた
・マスク着用、消毒、定員の設定

2. 来年度以降のサロン活動について

※興味・関心があること、町内で検討したいことなど

高齢者サロン
・参加者の高齢化、固定化が見られるので、一人でも多くの参加方法を考えた い
・ボッチャ、体操、ストレッチなど

子育てサロン、世代間交流活動など
・世代間映画上映会
・子ども向けプログラムを充実させていきたい

長滝地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年7月21日（水）15時00分～16時00分
 令和3年9月9日（木）10時00分～11時00分
 令和4年3月23日（水）15時00分～16時00分

場 所：長滝第一町内会館

参加人数：約90人（一日目：約30人×3日）

参加職員：地域福祉グループ／中村

テ ー マ：今年度以降の長滝地区の取り組みについて

東中西支部・長滝住宅支部・新長滝支部

<令和3年7月21日>

① これまでの事業調整会議（地域の暮らしを話す会）の振り返り

負担が大きい

⇒通常時の年3回の協力員会議は継続可能とのことなので、協力員会議に合わせて調整会議を検討。

② 広報紙の反応について（福祉委員会の紹介をした広報紙を前回作成した）

書いた人の名前を入れた方が良い

せめて町名と役職は入れるべき

配布先を増やす（対象者かつ町会外の人）

⇒数については民生委員、協力員で話し合い

今回は字が多かった。写真多めの方が良い

お元気さんの記事は好評

⇒どんな記事を書かせていくべきかは広報部会で引き続き検討が必要

③ 現在の課題点について

3-1) サロンへの送迎について

送迎が必要な人の人数を把握し、会計と話をし、タクシー会社へ相談を行う。

3-2) 担い手について

若い人と接点がない

60代更女は狙い目だが、難しい

対象者が増えている

⇒担い手については声掛けを行い増やしていく。

⇒担い手については活動しやすい雰囲気づくりに取り組む

3-3) 訪問のきっかけづくりについて

広報紙を持っていく

サロンの予定表を持っていく

⇒サロンのたびに配布する形に変更

④ 今後の取り組みについて
対象者のしたいことを聞き取る
体を動かすプログラム（座ってできるもの）が良い
サロン中座る場所について…協力員を間に入れる
4-1) 課題点
手芸プログラムは、作りたい人と作れない人が出てきた。
話題に困る…対象者の好きなものをリサーチして話をする。

東中西支部・長滝住宅支部・新長滝支部

<令和3年9月9日>

① 第1回事業調整会議の振り返り	
『今年度から実践と行動』	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動、各サロンと催しの案内状の配布とポスターの掲示を行う ⇒長滝地区内の病院、スーパー、コンビニ等。また地域型包括支援センターにも掲示希望 ⇒サロン「かけはし」も町の掲示板に貼って活動を見せていくのはどうだろうか。活動紹介、協力員募集について記載する。 ポスター作製が得意なボランティアさんに頼んでみる。 ・人が寄りやすい環境づくり、安心して来てもらえる環境づくり ⇒ワクチンパスポートは？ ・サロン「かけはし」の内容 ⇒10月からスタート予定 	
② サロンの送迎に関するタクシー会社との調整について	
<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社の条件（見積もりの共有）⇒芝山交通に決まる 	
③ 広報紙かけはしについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・原稿の順番と内容 ⇒お元気さんの記事…知った方が出るから読む。評判が良い。サロンに来てる人を調整。 ⇒子育てサロン…部会として書いてもらう。 ⇒サロン活動…2か所（新長滝・かけはし） 	
④ その他	
・防災研修会の実施	・その他研修会（広報紙関係）

<令和4年3月23日>

① 今年度を振り返って
<ul style="list-style-type: none">・活動を見せるための広報活動及び広報紙の取り組み ⇒活動紹介のチラシの作成及び店舗への掲示 ふれあいサロンかけはし：3ヶ月に1回の回覧・会員登録制であることを明記 子育てサロンあおぞら：毎月回覧、年2回の掲示に変更。また3カ月に1回のかけはしの回覧はあおぞらと一緒に載せる。
<ul style="list-style-type: none">・サロンへの送迎の取り組み ⇒負担金の変更を行う。現在300円だが、100円に変更する。タクシー会社に払う料金については、芝山交通と再度話し合いを行う。
<ul style="list-style-type: none">・その他 ⇒体温計を購入した。現在あるものより高性能のものを購入した。(体温を記録するタイプ)
② 来年度の取り組みについて
<ul style="list-style-type: none">・花見のあり方の検討及び報告、オンラインツアーについて ⇒通常のサロンで良いのでは？ 会館で食事会を行い、何か催しを考える。5町合同で実施。
<ul style="list-style-type: none">・自主財源の確保について ⇒イオンの黄色いレシートキャンペーンへの参加の検討 子育てサロンの事業にかかる費用で申請を行う予定。後日子育てサロン新代表さんと民生委員さんと一緒にイオンへ行く予定。申請資料は地域側で記入。

上之郷地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年11月29日（月） 18時30分～20時20分
場 所：上之郷コミュニティセンター2階 多目的室
参加人数：16人(母山2名・机場2名・女形2名・上村3名・中村4名・
下村2名・郷田1名)
参加職員：地域福祉グループ／中上、基幹包括支援センターいずみさの／平山・
山口、地域包括支援センターいぬなき／山道
テ ー マ：ウィズコロナの地域活動を考えよう

母山支部

現在までの活動の振り返り

現在までの活動の振り返り

- ・個別訪問は家の中には入らず玄関先で5～6分
- ・つながりネット 11月12月に再開・短時間で切り上げる

ムービーを見ての感想/コロナ禍の活動で感じたこと・見えてきたこと

- ・みんなが会えた時によろこんでくれる
- ・マスク・検温・消毒を行い、耳が遠い人にマイクを使う
- ・食べ物は持ち帰り・飲み物はペットボトル
- ・回覧板は良いアイデアだと思う
- ・オンラインは技術的に難しい
- ・認知症の予防体操については、参加者を増やしたいと思っているが現状での声掛けは難しく、呼びかけを中止している。コロナ終息後、参加者を増やしたい

コロナ前の活動に近づけるには？ 新しい活動のアイデアなど

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・2月に大正琴ボランティアに来てもらう
- ・12月に吹き戻し遊び、風車で遊び口腔機能UP・誤嚥防止
- ・子ども会と合同交流会を行い、工作をプレゼントしたり、紙芝居を見てもらうのはどうか

机場支部

現在までの活動の振り返り

現在までの活動の振り返り

- ・まつたけ交流会→中止し、54 件にプレゼント（饅頭配布）
- ・普段交流会に参加されない方にも配って喜んでもらえた（代替活動でも喜ばれる）

ムービーを見ての感想/コロナ禍の活動で感じたこと・見えてきたこと

- ・さわやか交流会は 3 密を避け、換気・消毒・マスクをし、気を付けながら集まることで衛生意識が高まった
- ・さわやか交流会は男性がないので、男性向けサロンを開催しても良いかも。
- ・コーヒー、お茶、お酒を飲みながら自分の家から自慢のものを持ち寄り、それについてみんなで話す（出入り自由）

コロナ前の活動に近づけるには？ 新しい活動のアイデアなど

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・さわやか交流会は次回を楽しみにしてくれている人が多い
→月 1 回以上に増やす。茶菓子を毎回持ち帰りにするなど

女形支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- ・まくら祭り、だんじり祭りのときに集まるくらい。
- ・今はクリスマスケーキ配布と様子伺い。

ムービーを見ての感想/コロナ禍の活動で感じたこと・見えてきたこと

- ・「まだ集まるの怖いなあ」との声があり、慎重にしているなど思うし、なかなか活動を始めにくい。ムービーにあった回覧板は、高齢になると読み書きがおっくうになったりするし、オンラインは難しい。訪問することで表情がわかるところがある

コロナ前の活動に近づけるには？ 新しい活動のアイデアなど

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・各行事が再開するときを見計らって活動していきたい

上村支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- わくわくふれあいハイキング（青少年指導委員）
- 防災釜でカレーをつくった・150人程度集まった。
- 帽子、マスク、手袋、防護服、対面を避けてご飯を食べる
- 1机2名。
- 自分たちが大きなイベントをやったからと言って人に勧めるわけではないし、した方がよいということではないが、感染症対策をしてこのような催しを無事に開催できた例もあるのでご参考までに。

中村支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- なかなか身動きできない状況ではあるが、丘陵緑地でお花見をした
- 子育てサロンについてはお母さんから「今日やってますか？」という問い合わせがあることも
- 緊急事態宣言化は中止したがクリスマス会は実施、見守り訪問も実施している

ムービーを見ての感想/コロナ禍の活動で感じたこと・見えてきたこと

- 高齢者の外出の機会が減ってきており、ネット対象者の生活の様子が見えないことが心配。

コロナ前の活動に近づけるには？ 新しい活動のアイデアなど

コロナ前の状態に近づけるために……

- ネット対象者で様子のわからない方の様子伺いが必要。
- クリスマス会（高齢者）・子育てサロンは開催予定。人と人との接触の機会を持つことは続けていきたい。

下村支部・郷田支部

現在までの活動の振り返り

現在までの活動の振り返り

- ・にこやか交流会の開催ができていない

ムービーを見ての感想/コロナ禍の活動で感じたこと・見えてきたこと

- ・オンラインでの活動は難しいと思う
- ・回覧板も良いがやはり面と向かって話をするのが一番良い
- ・お年寄りも含めてふれあいが大切

コロナ前の活動に近づけるには？ 新しい活動のアイデアなど

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・今までやっていた立ち番やお盆やお祭りが集まりの場になっている。
- ・これまでの日常生活のすべての交流が福祉活動になる。特別なことをやるのではなくてこれまでやってきたことを継続する
- ・配りものをするときに防災グッズを配る

大土地区 地域の暮らしを話す会

開催方法：アンケート形式

回答者数：30名

テーマ：あなたのまちの困りごとについて

① あなたの町の困りごとについて、あてはまるものには何ですか (複数回答可)			
高齢者が住みづらい	13	障がい者が住みづらい	2
子育て世代が住みづらい	10	子どもが住みづらい	8
地域活動が少ない	7	地域活動の担い手が少ない	14
住民同士の交流が少ない	7	災害が起きたときに心配	13
ごみのポイ捨てが多い	3	空き家や休耕田がある	18
近所トラブルがある	0	その他	0

② ①の回答について具体的に内容をご記入ください
・民家の少ない大きな道路の横なので、ゴミ捨てが多く困っている。
・車がないと買い物に行けず、年齢と共に運転が怖くなっている。
・病院やスーパーが近くになく、車が必要、車が無くなった時に困る、不便。
・子どもたちが独立して他の所に住むようになり、高齢者が多くなってきた。 (土地の不便さ、保育所がないため)
・病院などが遠い、子どもがいない
・交通の便が悪い、道路が少ない(アクセス悪い)為、若い人が町に移住し、高齢化が進む原因となっている。
・生活に必要な医療施設・スーパーなどが無い。
・田舎の町会では、少子高齢化が進行し、担い手そのものが60歳~70歳代が中心である。進んで担い手になるものがない。そのため、全市の平均的な解決策では解とならない。
・貧乏くじを引いた一部の役職者に担い手としての業務が集中し、ますます疲れてしまう負のサイクルになっている。
・数年前の台風の時、川の水があふれ畑が流された
・バスの回数が少ないので車に乗れないと不便です
・産業道路(車が良く通る道)に弁当の空とかペットボトルが捨てられている
・毎日学校まで歩くのが大変そう
・空き巣が入らないか、不審者が来ないか心配

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会及び各種団体の会長、副会長、幹部クラスの方々との雑談、話し合いの場が欲しい、年に2～3回くらいで時間内（2～3時間）自由な出入りがいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの話し合いの場が欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・山間部の集落なので車がないと不自由、そんな中高齢者となると買い物や病院等すぐに行けない環境にある。
<ul style="list-style-type: none"> ・老人世帯も多くなってきており将来住み続けるのに不安の方が多く感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化で対応できない、産業がない為若者の流出
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み人口が減ってきて、町内会などの地域活動の担い手が少なくなってきた。町内会費・寺社の会費・水利費などのコストが高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の面が悪い、公演がなく、遊ぶところがない
<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きたとき抜け道がなく孤立するおそれあり、道を舗装してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多く、壊れそうな家に野生動物が住み着いて困っている
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶ公園がなく、バスの本数が少ないので交通面でも大変不便。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが出かけるとき、親の送り迎えが必要になってくる
<ul style="list-style-type: none"> ・非難するタイミングがわからない
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に子どもの声が聞こえないとだめだ
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に手厚くしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者家族が多く（2人暮らし）、子どもは地元で暮らしていない
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みやすい地域にする（会社・工場の誘致）

<p>③地域に「こんなものがあれば良いな」「もっとこうしたい」ということや、アイデアなどご自由にご記入ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・公共機関に電池の捨て場が欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用の買い物や通院の送迎を大木地区でマッチングして運用していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田を活用（農地を貸し農園等）
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用など、とにかくこの村に住んでいただくアピール活動
<ul style="list-style-type: none"> ・小さくても店、スーパーみたいなものがあればいいなと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ、ガソリンスタンド
<ul style="list-style-type: none"> ・老人・子どもが集まり、遊べる公園があったら……その中にカフェもあり。ちょっとしたスーパー等あったら楽しく便利になるのでは！大木の特性を生かした「道の駅」など考えて欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ

長坂地区 地域の暮らしを話す会

開催方法：アンケート形式

回答者数：85名（新泉丘支部 7名・泉ヶ丘支部 16名・下瓦屋南支部 8名・
鶴原北住宅支部 4名・貝田町支部 12名・新家町支部 14名・
鶴原東町支部 11名・見出住宅支部 13名）

テ－マ：あなたの住む町について

新泉ヶ丘支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	2名	障がい者が住みづらい	2名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	1名	地域活動の担い手が少ない	4名
住民同士の交流が少ない	3名	災害が起きたとき心配	2名
ゴミのポイ捨てが多い	2名	動物のフンが多い	3名
近所トラブルがある	2名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・住宅が高台にあるため、高齢者や障がい者が住みにくいと思う。
- ・バスの本数が少なく、特に買い物に困っている方が多い。
- ・週一回 COOP が来ているが利用者はとても少ないと思う。
- ・高齢者が多く、若い人は仕事をしているので役員のなり手が無い。
- ・高齢者が多いため役員の辞退がある。
- ・たばこのポイ捨て、限られた場所だが猫のフンに悩まされている。

③ 自由記述

- ・若い人は少なく仕事をしているため役員になってくれる人は見つかりにくい。
- ・役員になっても非協力的。

泉ヶ丘支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	6名	障がい者が住みづらい	1名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	1名	地域活動の担い手が少ない	7名
住民同士の交流が少ない	5名	災害が起きたとき心配	4名
ゴミのポイ捨てが多い	7名	動物のフンが多い	5名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	5名
その他	1名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> • 道路が平坦でなく、起伏が多く高齢者は買い物など非常に困難である。スーパー等が遠方で困っている。
<ul style="list-style-type: none"> • 道路の高低がかなりある。高齢者が多いのであまり外出できない。
<ul style="list-style-type: none"> • 坂道が多く買い物できるところも遠い。移動手段がなく困っている方が多い。駅までの少しの距離も大変。高齢者や障がいがある方には住みづらいかなと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 坂が多く買い物が大変。
<ul style="list-style-type: none"> • 町内に坂道が多い。
<ul style="list-style-type: none"> • 買い物バス（コープお買い物便）だけでは少ない。
<ul style="list-style-type: none"> • 子育て家庭が少ないため、母親や子ども同士の交流ができにくい。集う場も少なくもっと文化的な建物やスペースが欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> • 町内会関係の担い手が無い。（役員、子ども見守り隊、ボランティア等）
<ul style="list-style-type: none"> • 町会の活動は主に高齢者で、50～60歳代の人たちに入ってもらえる方法を考えるが、、
<ul style="list-style-type: none"> • 新しい世帯が町内に来ても、町会に入会する人がそんなに多くない。何かある時はできるだけ声かけをしているが特にハイツに入っている人が非協力的。
<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者数と次世代を担う若者数との比率がアンバランスであり、ボランティアの協力員が出にくい。
<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者世帯が多く、次世代に町内活動の意義等を機会を持ち説明していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> • 役を受ける後任者がいない。

• 若い人の人材が少ない。
• ここ 2 年程はコロナで活動がない。
• 地域活動、住民の交流が少ないが、今はコロナで無理だと思う。
• 住民同士の集まりが少なく知らない人が多い。
• 隣同士であっても話し合う機会が少ないので、何か交流できる場があれば良い。
• 立地条件的に災害の時は大変。
• ゴミを捨てに来る人がいる。
• 環境は良くなりつつあるが、他町の人のごみのポイ捨てがある。
• 以前よりは減っているが時々ゴミのポイ捨てを見かける。
• 駅からの帰り道にマスクを捨てる人が多い。私は週 2 回くらいマスクやたばこの吸いがら等を拾ってまわっている。
• マスクを捨てる人がいる。家に持ち帰るのが嫌なのは分かるが、袋に入れてくくって捨てれば問題ないと思う。
• 自宅周辺ではなく、泉ヶ丘メイン道路及び駅周辺にマスクのゴミが多い。
• 阪和線のガード下にセブンイレブンで買った物の空き容器を捨てたり、たばこの吸いがらも多い。
• 犬のフンの後始末がされていない。
• いまだにフンの処理をしない人がいる。何か良い方法はないか？
• 動物は同じ場所にフンをする。飼い主は責任を持って回収を徹底するべき。
• マナーを守らない犬の飼育者がいる。
• 電線にかかっている木がたまにある。台風、強風時に停電のおそれあり。
• 木がはみ出して困ることがある。面と向かって言いにくいので行政の方で指示してほしい。
• 地域の高齢化及び、高い位置の枝は剪定不可能。剪定を頼むなら業者か泉佐野市であるが金銭面等で問題がある。
• 道路に垣根の木がはみ出している。

③ 自由記述
• 大災害が発生した時の対応は不十分で、今のうちに訓練等しておく必要あり。
• 住民でも高齢者が多いので、楽しみを持てるようなものを工夫するべきだと思う。
• 福祉ボランティアの高齢化もあり、若手ボランティアの参加勧誘が必要だと思う。

- 地域での助け合いも必要であるが、まず家族（同居ではない）で十分話し合う必要があると思う。
- 環境面においては町会の方できれいに見守ってくださっているので美しい町だと思う。
- ゴミを捨てるところに監視カメラをつけてほしい。

下瓦屋南支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	2名	障がい者が住みづらい	2名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	1名
地域活動が少ない	3名	地域活動の担い手が少ない	6名
住民同士の交流が少ない	5名	災害が起きたとき心配	5名
ゴミのポイ捨てが多い	7名	動物のフンが多い	6名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- 新しい住宅や家が建ち知らない人が多くなった。
- コロナ禍で外出、人との交流を避けている。
- 道路に犬のフンが多く目立っている状態。野犬は見当たらないので飼い主がきちんと処理してほしい。
- 町内は通勤道路のため交差点でのポイ捨てがある。
- たばこの空き箱やペットボトルのゴミも目立つ。
- ゴミ捨て場に通りすがりに捨てていく人が多い。

③ 自由記述

- 町内で高齢者をサポートしている。（月、水、金）
- 知らない人が多くなったのとコロナ禍で交流活動をするのも難しい状況。

鶴原北住宅支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	0名	障がい者が住みづらい	0名
子育て世代が住みづらい	0名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	0名	地域活動の担い手が少ない	0名
住民同士の交流が少ない	3名	災害が起きたとき心配	1名
ゴミのポイ捨てが多い	2名	動物のフンが多い	2名
近所トラブルがある	1名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・近所でのコミュニケーションがない。
- ・日常生活音などで騒音トラブルがあった。
- ・野良ねこが多い。
- ・防災訓練もないし、どこに避難すればいいか、何日か分の食料の確保など具体的に何も準備していない。
- ・お菓子のごみをポイ捨てする子どもがいる。
- ・団地でボール遊びをしてごみを散らかして帰るのが困る。

③ 自由記述

- ・バイクの騒音がうるさい
- ・夏になると遅い時間帯にだんじりの練習を大声で叫んでいるので寝れない。もう少し早い時間にしてほしい
- ・ゴミの分別が難しく、プラごみは業者も引きとってくれない。
- ・可燃ごみの日が週2回から3回になればいいと思う。
- ・プラごみは少し大きくなると（洗面器でも）粗大ごみになる。役所に聞かないと分からないことが多い。
- ・住民同士の交流は自治会からの連絡事項以外ないので、団地全体のことがなかなか分からない

貝田町支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	1名	障がい者が住みづらい	1名
子育て世代が住みづらい	1名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	0名	地域活動の担い手が少ない	3名
住民同士の交流が少ない	0名	災害が起きたとき心配	4名
ゴミのポイ捨てが多い	3名	動物のフンが多い	3名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	1名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・災害が起きた時、避難行動をスムーズに行うことができるか、、、（特に高齢者を誘導して安全な場所に連れていく場合など）
- ・町三役のなり手が少ない。
- ・地域活動の担い手が少ないと、特に災害時に町内での連携が取りにくい
- ・車からのゴミ、たばこのポイ捨てがよくある。
- ・溝に空き缶が捨てられている。道路にマスクが捨てられている。
- ・犬のフンが畑や草むらに捨てられている。
- ・車の交通量が多く歩行者が危険。（歩道がない）
- ・犬のフン害防止啓発看板を設置しているがなかなか減らない。
- ・野良猫が多い。（最近では地域猫の対応が増えてきている）
- ・散歩する道路、公園などが少ない。

③ 自由記述

- ・コロナ禍で、地域の活動、住民同士の交流の機会が減ったと思う。できる限り協力していきたいと思っているが、何か他にも地域のつながりがあればなあと思っている。
- ・月1回の見守り訪問を楽しみにしてくれている方が多い。
- ・朝、夕の犬の散歩に行く時に会うお年寄りには気軽に声かけしている。小学生にも同じようにしている。
- ・困りごとが発生してもすぐに対処できる町内だと思う。
- ・長期で居住している世帯が多く、何か問題が発生しても、リーダー的存在の人が声をかけるとみんなが協力できる町内だと思う。

新家町支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	0名	障がい者が住みづらい	1名
子育て世代が住みづらい	0名	子どもが住みづらい	1名
地域活動が少ない	1名	地域活動の担い手が少ない	7名
住民同士の交流が少ない	1名	災害が起きたとき心配	8名
ゴミのポイ捨てが多い	7名	動物のフンが多い	10名
近所トラブルがある	1名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員会を支える後継者がいない。また、町会役員、民生委員のなり手が見つかりにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員のなり手が少ないので町会で取り組む必要あり。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手が同じ人にかたよっていて新しく参加する人が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・新家町福祉委員会では、機会を見つけて防災啓発を行っている。しかし、それ以上の活動がなかなかできない。
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防の活動をもっと広く。活動していない。
<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙者としては肩身が狭いが、たばこのポイ捨てが一番気になる。ペットボトル、缶、弁当パックなど、コロナ禍の影響でマスク、ティッシュなども見られる。一人ひとりのモラル向上が唯一の改善方法だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・犬のフンの始末をめぐって、マナーを守らない人への警告ポスターを貼っている家がある。その内容があまりにも人権を侵害するもので困っている。（顔写真を載せている、脅迫に近い言葉で謝罪に来るよう求めている、アホ・病気など人格を否定する文言がある、YouTube への投稿を予告している）
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ場所に犬のフンをさせ後始末をしない。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園内のゴミのポイ捨てが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・犬のフンが多くて困る。
<ul style="list-style-type: none"> ・犬、猫のフン注意看板を設置しても効果がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園辺りのゴミのポイ捨てが多い。

鶴原東町支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	3名	障がい者が住みづらい	0名
子育て世代が住みづらい	0名	子どもが住みづらい	0名
地域活動が少ない	8名	地域活動の担い手が少ない	9名
住民同士の交流が少ない	3名	災害が起きたとき心配	10名
ゴミのポイ捨てが多い	10名	動物のフンが多い	10名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	1名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・四角池とマンションの間の道にゴミを捨てに来たり、犬のフンが多い。
- ・コロナ禍で地域の活動、行事ができなくなっている。

見出住宅支部

① あなたの町の困りごとについて、当てはまるもの（感じるもの）に○印をつけてください。

高齢者が住みづらい	0名	障がい者が住みづらい	5名
子育て世代が住みづらい	0名	子どもが住みづらい	1名
地域活動が少ない	0名	地域活動の担い手が少ない	6名
住民同士の交流が少ない	2名	災害が起きたとき心配	5名
ゴミのポイ捨てが多い	3名	動物のフンが多い	3名
近所トラブルがある	0名	敷地から木がはみ出している	0名
その他	0名		

② ①の回答について具体的な内容を教えてください。

- ・小さな子どもが少ないため、遊び相手がいなくてかわいそう。もっと若い家族が多く入居してほしい。
- ・若い方が少ないので担い手がいけないのは仕方ないと思う。
- ・高齢者の一人暮らし世帯が多く、地域活動の担い手が少ない。
- ・活動、交流の参加者が年々減少傾向にある。
- ・見出川にゴミの不法投棄が繰り返されている。個人で拾い上げることができないので行政の定期的な回収を望む。

日根野地区 地域の暮らしを話す会

日時：令和3年11月13日（土） 19時00分～20時40分

場所：日根野公民館

参加人数：32人(東上3名・久ノ木3名・中筋4名・西出4名・野口3名・
西上3名・新道出3名・野々地蔵6名・俵屋3名)

参加職員：地域福祉グループ／中上、基幹包括支援センターいずみさの／平山・
山口、地域型包括支援センターいぬなき／藤田

テーマ：ウィズコロナの地域活動を考えよう

東上支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・福祉委員会で高齢者見守り、長生会でカラオケ・クリスマス・新年会を開催している。
- ・子ども会は加入が少なくなっているが、無くなってはいけないと町会に言っている。

他の町会組織と一緒に取り組めそうな活動や具体的なアイデア

- ・市報をできるだけ手渡しで声掛けしていく
- ・クリスマス会を福祉委員会・子ども会・長生会すべて合同で参加できれば

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・合同で年1回くらいのイベントを何かしていきたい。
- ・各組織と話し合っって参加が多いようにしたい。

久ノ木支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・今と昔で生活リズムや考え方の違いがある
- ・今までの活動を今後どのように受け継いでいくのが難しい。
- ・コロナで活動が中止となっていることもある。

他の町会組織と一緒に取り組めそうな活動や具体的なアイデア

- ・町会加入は67件。兼務も多いので、新しい活動をするというよりは、今やっている活動を充実させたい。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・ラジオ体操を20ヶ月ほど続けており、のべ6000人を達成した。
- ・もっと参加してもらえるように広めたい。

中筋支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・民生委員で見守り訪問を行っている。
- ・長生会と町会の活動はコロナ禍で開催中止しているが、高齢者はがっかりしている。
- ・子ども会も人数減で休止せざるを得ない。

他の町会組織と一緒に取り組みそうな活動や具体的なアイデア

- ・世代間交流を広めることで町内の絆を深める。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・高齢者の交流を広めるために、交流の場を提供する。
- ・小学校入学時などに子ども会などの加入をすすめたい。

西出支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・町会では美化活動や広報誌を配布している
- ・長生会のカラオケは中止
- ・福祉委員会では一人暮らし高齢者訪問を行い、中止中のゆめクラブ代替でお菓子を配布している。コロナ禍で思うように活動できていない中で、どう組織に入ってもらえるか、大きな輪になっていけば良いと思う。

他の町会組織と一緒に取り組みそうな活動や具体的なアイデア

- ・ゆめクラブを充実させ、町会外の参加を促す。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・ゆめクラブでビンゴゲームなどをしたい。
- ・カフェの開催や、他の支部の取り組みを見て勉強したい。

野口支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・町会で8月に納涼大会をしているが中止、田植えの時に溝掃除をしている。
- ・また毘沙門天の清掃・管理もしている。
- ・長生会では歴史探索として歩こう会を行っている。

他の町会組織と一緒に取り組めそうな活動や具体的なアイデア

- ・民生委員と協力して一人暮らし訪問をすることで、町会の加入の声掛けをする。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・町内の奥さんが『おとなクラブ』として料理や手芸を行っている。
- ・派生させて月1回町会館でやっていきたい。

西上支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・普段から他団体の動きは把握できていると思う。
- ・子ども会の会員が20年前は80人いたのが今は9人となっている。
- ・青年団も会員数が減っている。
- ・青年団のOB会『あやめ会』があつたりと町内のつながりは良い。

他の町会組織と一緒に取り組めそうな活動や具体的なアイデア

- ・盆踊りで青年団・町会・福祉委員会・長生会・子どもと一緒に活動できている。
- ・青年団の川掃除は町会がサポートしている。台風時の瓦礫回収を青年団、あやめ会で行っていた。今後も連携を続けていきたい。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・休止中の西上カフェを1月から再開したい。
- ・町会員を増やしていきたい。町会外の方が多いのでその人たちを巻き込んで地域の暮らしを話す会をしたい。

新道出支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・各会の活動について、再開しても参加者が少ない
- ・長生会のお楽しみ会もコロナ禍で活動中止している

他の町会組織と一緒に取り組みそうな活動や具体的なアイデア

- ・年齢制限のないカフェなどの活動をし、交流の場をつくりたい

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・新道出カフェとしてR43月～目途に月1回活動したい。以前、活動計画を立てていたがコロナで開催に至らず。

野々地蔵支部

福祉委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・各町会組織での交流が増えることで絆が深まれば……
- ・高齢者のために野々地蔵カフェや寄せ植えのプレゼントを続けていきたい

他の町会組織と一緒に取り組みそうな活動や具体的なアイデア

- ・子ども会と福祉委員会の交流を持ちたい。昔遊びやクリスマス会など。
- ・福祉委員会主催の餅つき大会も良いかも。

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・長生会と協力しながら健康維持の体操なども来年度計画していきたい。

俵屋支部

社委員会と他町会組織について

他の町会組織の活動を知ってどのように感じたか

- ・各会会員が少ないので募集していきたい
- ・集まらずに行っている活動や他組織の工夫について「いいな」と思う

他の町会組織と一緒に取り組めそうな活動や具体的なアイデア

- ・長生会と子ども会で昔あそび
- ・年齢問わず防災訓練をしたい

支部福祉委員会を盛り上げよう

福祉委員会として今後取り組んでいきたいこと

- ・コロナ後、ため池についての防災訓練をしたい

南中地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年10月28日（木） 19時00分～20時00分

場 所：南部市民交流センター

参加人数：23名（安松6名、岡本3名、樫井東5名、樫井西6名、関係機関3名）

参加職員：地域福祉グループ／中村

テ ー マ：研修に関するアンケート結果の共有

安松支部・岡本支部・樫井東支部・樫井西支部

1. 今年度の研修は樫井東にある奥家への見学を考えておりますが、皆様のご意見をお聞かせください。

奥家	他	中止	無回答
39	1	27	0

・コロナの状況を考えてからでも良いかと思えます。

・地元に住んでいて地元のこと（歴史 etc.）を知らないのは恥ずかしいことかもと思えますので。

2. ほかの場所が良いと答えした方にお聞きします。どこか希望の場所がありますか。

・地場産業の一つとしてタオル染工場は如何かな？

・コロナが気になります。

・樫井川（川町法による整備状況）堤防工事

3. 今年度の各支部から参加する研修人数についてお聞きします。5名まで（協力員さんを含む）を考えておりますが、皆様のご意見をお聞かせください。

5名で良い	5名以外が良い	無回答
48	8	9

4. 5名以外が良いと答えた方にお聞きします。具体的に何名がよろしいですか。

・人数を限定すると希望者の選定が難しい。

・1町会7名程度、総数40名程度

・5名だと役員のみになるのでは？
・忙しい人も多いでしょうから5名以下でも仕方がないと思います。それからもちろん5名以上参加でも結構なことです。
・コロナ感染者が減少しているが、まだ完全ではない為みない方が良いでしょう。
・皆さんで行かないと意味がないと思います。
・地区によって協力員の数も違いますし、2、3名の地区もあれば、7、8名参加の地区もあっていいと思います。
・2～3名程度
・8名位
・多人数は避けた方が良い

5. 今年度の研修の昼食についてお聞きします。レストラン等に食べに行くか、研修場所でお弁当もしくは手土産をお渡しし家に帰って食べてもらうかどちらがよろしいですか。

会食	弁当・手土産	無回答
7	50	8

6. 来年度以降の研修内容についてお聞きします。どんな研修がご希望ですか。

防災	高齢	障がい	子ども	他市町村	その他	無回答
33	26	19	19	18	4	5

7. 6の回答について具体的なご希望があれば記入をお願いします。

・高齢者施設や保育園などの見学
・地区の考えに任せます。
・毎回はずれなしでありがたいです。
・タブレット等の使い方について
・ネットといじめの関連について
・高齢者で認知症だと見た目では分からない人がいるので研修を受けられると良いと思います。
・個人では見学に行けないので…。「ポノ泉佐野」上町、就労継続支援A型事業所
・空き家について

8. 来年度以降の研修内容についてお聞きします。研修形態についてご希望はありますか。					
施設見学	活動見学	体験学習	講義形式	その他	無回答
37	17	15	5	3	7
・研修を受け、良いところは地域で取り入れてほしい。					

9. これまでの南中地区福祉委員会の研修についてお聞きします。印象に残っている研修内容や場所はありますか。
・ATC エイジレスセンター
・神戸防災センター、人と防災未来センター
・京都市市民防災センター
・京都大学複合原子力科学研究所
・稲村の火の館
・コロナ禍で実施されていない為参加していません。
・北淡震災記念公園
・研修は地区が考えてくれて良かった。ただし長時間バスに乗ることが大変だと思う。近い場所でいい所があればそれでいいと思います。
・大阪市立阿倍野防災センター
・津波・高潮ステーション
・泉佐野南部公園
・今現在も仕事をしています。なかなか企画された研修会等に参加する事ができず。(開催される曜日が平日が多いのかな?)

10. 印象に残っている研修内容や場所について、その理由を教えてください。
【ATC】
・高齢者が利用できる最新の器具等が紹介されている。
・車いす体験、ドアの開閉の不自由
【京都防災センター・人と防災】
・体験学習が一番印象に残っています。防災センターなどの実体験は良かったと思います。
・地震の震度体験が印象的であった。
【稲村】
・防災は危険予知が大事
・防災・地震

<ul style="list-style-type: none"> • 施設が立派で展示内容が良く見学していくうちに防災についての意識が高まりとても勉強になった。 • 稲村の火の話は教科書にもものっていて、村人の命を守った話にあらためて感銘を受けましたが、その場所が泉佐野・泉南にこんなにも近い所だったのをはじめて知りました。あと私財をなげうって高い堤防をつけたことで今も津波の被害にあわず守られているとの事。
<p>【北淡】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 近づく南海道地震
<p>【京都原子力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内部見学は初めてだったので。医療に使うために研究している。
<p>【阿倍野・津波】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 皆さん各自一人ひとり体験させてもらったので印象に残っています。
<p>【南部公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 町会役員になって研修で訪問するまでこのような施設が有るのを知らなかった。

II. 町名				
安松	岡本	樫井東	樫井西	無回答
19	16	15	10	5

中央地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和3年11月27日（土） 10時30分～11時40分

場 所：葵町会館

参加人数：10名(市場町3名、葵町2名、中町2名、幸町1名、日根野西2名)

参加職員：地域福祉グループ／中上、基幹包括支援センターいずみさの／中川、
包括支援センターしんいけ／櫻井

テ ー マ：ウィズコロナの地域活動を考えよう

市場支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- ・町会では月1回集まって話をしたが、ふれあい祭りは中止している。
- ・「ふれあい祭りをやりたい」という声もあった。
- ・個別訪問はコロナ禍でも継続している。

振り返ってみて、困ったこと・課題/良かったこと・継続していきたいこと

- ・コロナで集まれないこと、地域の交流（世代間交流）が行えていない
- ・コロナでも継続できることは継続して深めていきたい

これからの取り組みについて

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・民生委員と協力員での独居高齢者の見守り。
- ・地域の住民同士が声を掛け合って話ができるようになるようなことが必要。
- ・防災・火の用心は人を少なく行う

葵町支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- ・コロナ禍で活動はほとんどできていない
- ・葵町公園の草引きを月1回している
- ・10月から子育てサークル再開、一人暮らし高齢者への見守りはできている
- ・月1回のお誕生日祝いの赤飯配布

<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日の紅饅頭配布
振り返ってみて、困ったこと・課題/良かったこと・継続していきたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の見守りは続けていきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで会議が開催できない中でも、自然と協力員を中心に連携できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・口伝えで情報共有ができていシステムがつくられていて、コミュニケーションが上手くいっている。

幸町支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> ・町会の役員会は月1回定期で行っているが、福祉委員会は定期的にできていない
<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問は継続
振り返ってみて、困ったこと・課題/良かったこと・継続していきたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・集まることが難しく、町会・福祉委員会に関する引継ぎや情報伝達がうまくいかない。
<ul style="list-style-type: none"> ・書面でのやりとりになると「自分事」として捉えづらい。
<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流が以前はあったが今はほとんど無くなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会・育成会がなくなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつりの開催をしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や仕事を理由に町会に入らない方がいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・大人は仕事・子どもは塾と忙しい人が多い。

これからの取り組みについて

コロナ前の状態に近づけるために……
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは「参加する」ことが大事だと思う。他の役員とかおみしりになると他の支部の方とも話しやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者の方に訪問する際、喜んでくれることがあったので続けていきたい。

中町支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- ・子育てサロン・元気塾などは中止状態が続いていた
- ・11月より子育て再開（カフェは4月～開催予定）
- ・独居高齢者の見守り訪問は継続

振り返ってみて、困ったこと・課題/良かったこと・継続していきたいこと

- ・親睦会の開催にあたりみんなの意見のとりまとめに苦労した
- ・マスクやキレイキレイ（手拭き）の配布をした
- ・11月7日に防災訓練を行い、町役員がメインとなって発電機をチェックした

これからの取り組みについて

コロナ前の状態に近づけるために……

- ・引き続き、感染症対策に気を付ける

日根野西支部

現在の取り組みについて

現在までの活動の振り返り

- ・子どもの日のプレゼント配布
- ・75歳以上の方（25名近く）へJCBカード配布
- ・お花の植え替え、手入れ
- ・粗大ごみの片づけ（町会役員会で高齢者の課題として出てきた）
- ・お弁当配布
- ・今年1年は町会費を無料にした
- ・自主防災で簡易トイレを配布

振り返ってみて、困ったこと・課題/良かったこと・継続していきたいこと

- ・独居高齢者の訪問を行った際に、コロナ禍ということで気を遣う。
- ・マスクと距離感もあって声が聞き取りづらかった。
- ・各行事の中止・延期・実施の判断に苦しんだ。
- ・「孤独死を防ごう」ということで、ポストの郵便物・電気の確認をしている。
- ・不在時には訪問メモを入れている。

これからの取り組みについて

コロナ前の状態に近づけるために……

- コロナ対策で人数制限をしていく中でも会議を開催していければ良いと思う。
- これまで6町でいろいろな輪番を組んで回していたがそれが今崩れているのも気になっている。今後会議で話し合い立て直していきたい。

二小地区 地域の暮らしを話す会

開催方法：アンケート形式

回答者数：48名（高松町10名、高松東6名、高松北6名、高松南8名、上町3名、栄町5名、大宮町4名、大西町3名、小ざくら応援隊3名）

テーマ：あなたの町の困りごとについて

①あなたの町の困りごとについてあてはまるものをすべて選んでください。	
・『高齢者や障がい者、介護が必要な人にとって住みづらいと思われる』	3名
・『子どもや子育て世代にとって住みづらいと思われる』	2名
・『もし災害が起きたときに避難できるか心配』	12名
・『ゴミ捨てや動物多頭飼いや近隣でトラブルがある』	6名
・『将来、地域活動の担い手がいない』	36名
・『地域住民同士の交流が少ない』	18名

② ①についてあなたの町で取り組めることはありますか？	
・地域活動の担い手の募集について現在町会役員お願いに回っているが、なかなか見つからないことが多い。	
・今後は「警察官の募集方法のように」チラシを作成したり、活動内容をわかりやすく図解したり、募集に関する事務局のような取り組みが必要ではないかと思う。	
・地域活動を行う際の各人の負担を軽くするような工夫が必要だと思う。	
・できるだけ地域の状況を把握し、日頃からお年寄りや近所の方に挨拶や声かけをしていきたいと思います。	
・今後はコロナ後をしっかり見て活動を考えないと。	
・今後は活動が難しくなると思います。	
・住民同士の交流を通じて、地域活動の担い手を探す。	
・地域住民の交流を通じて、災害時の助け合いができる。	
・避難後の体制や対策を早期に！防災体制の強化。	
・車道～歩道の分離不十分、横断歩道設置不足、歩道の傾斜がきつくベビーカーやキャリーカーを押しづらい点。そういった点の行政への働きかけ。	
・ゴミ、タバコ、缶のポイ捨てが増えたので、掃除。	

<ul style="list-style-type: none"> ・現在、夏休み期間のラジオ体操といった世代間で交流できるイベントを継続、拡大して取り組む。また、他ジャンルでの取り組みの検討。
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等の集まりの場を月に1回くらい設ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増えてあまりできないことがない。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手を見つけるため、町会で班長等が集まる機会を多くしなければならぬと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・特に案件が無くても定期的に会を開き、困りごとや気になることなどの情報交換、雑談等を行い、何も決めることが無くても親睦のつもりで話し合いをすることが大事だと思います。その中から地域の担い手の情報等の情報も得られるかもしれません。
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ方が長く役職について活動していただけるのは有り難いですが、交代の時期が来ても新しい人が決まりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・やはり、定期的に変わっていきける体制を整えなければ、ずっと担い手がいないう状況になると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市報などで担い手の応募をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・元気になれるように近所の人とおしゃべりする。
<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の活用及び市報配布時に回覧にて活動内容を知らせる。また、意見(不満)を出しやすい環境づくりが必要かと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の中で町活動は壮年層や若年層が厚くなれば良いのですが、高齢者の人口が多くなかなかまとまな活動が出来なく思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や余剰スペースを行政の支援貰って、人口を増やす方法もいいのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・町にももう少し人を増やしたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の割合が多い限界集落であるが、数少ない若い世帯の方々を何とか集まって貰えるように。
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の拡張等、町会で取り組むことが困難なものがほとんどである。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策として備蓄を整備する程度は可能かと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内を自転車で巡回し、老人の方への声掛けに努める。
<ul style="list-style-type: none"> ・この辺りは災害も少なく、また市から避難場所を示されていますが、もう少し明確に且つ細やかに、この辺りはここにという風に…。
<ul style="list-style-type: none"> ・一年に一度でも避難場所に集合したりどうかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・書いて示しているだけでは行動できない人が殆どだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・もし災害が起きた時の為にも、日頃から近隣の状況を把握し、お互いに挨拶やちょっとした声掛けなどが大切だと思います。

- | |
|---|
| •小ざくら広場を手伝わせて貰っている中で、良い所をどんどん伝えていくこと。 |
| •小ざくら広場参加者「福祉委員会」に興味を持って貰うこと。 |
| •コロナが終息したら子どもから大人まで交流できるものを何かできればいいなーと思います。 |

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
作成日：令和4年9月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。

